



子犬をお迎えした後に 気を付けるべき5つのポイント

「初めての子犬との暮らし、何に気をつければいいの？」
そんな不安を持つ方にこそ知ってほしい、専門家が教える5つの基本ルール。

ちょっとした心がけが、子犬の健康を守り、あなたとの絆を深めます。可愛がるだけでは守れない“本当に大切なこと”を、わかりやすくお伝えします。

安全な環境づくり

子犬が安心して過ごせる家づくりが大切です

専用のハウスと寝床を作る

成長段階に合わせた栄養バランスを考えましょう

早期のしつけトレーニング

基本的なルールを優しく教えることが重要です

ストレスを与えないように

予防接種とケアで健康を守りましょう

日々の観察と健康管理

様々な経験を通じて社交性を育てましょう

1. 安全な環境を整えましょう

子犬は旺盛な好奇心と探索本能の持ち主です。小さな物は何でも口にしようとするため、危険な小物は必ず手の届かない場所に片付けましょう。電気コードは専用の保護カバーで守り、噛み癖から守ることが重要です。

フローリングは子犬の足腰に負担をかけ、滑って怪我をする危険性があります。適切なサイズのマットを敷くことで安心して動き回れる環境を作りましょう。また、階段や高い場所からの転落防止には、ペット用ゲートや柵の設置が効果的です。



危険物の撤去

薬品、洗剤、ビニール袋、コイン、小さなおもちゃなど誤飲の恐れがあるものはすべて手の届かない場所へ。観葉植物も犬にとって有毒なものがあるので注意しましょう。



コード類の保護

電気コードは噛まれると感電や火災の危険があります。壁沿いに配置し、専用カバーやモールで保護。使わないコンセントにはカバーをつけましょう。



滑り止め対策

滑りやすい床面は子犬の関節発達に悪影響を与え、成長後の障害につながることも。適切なサイズのラグやマットを主な活動エリアに敷きましょう。



2. 専用のハウスと寝床を作る

子犬が安心して過ごせる自分だけの空間は、情緒的な安定と健全な発達に欠かせません。適切なサイズと居心地の良いアイテムで、愛犬の「マイホーム」を整えましょう。



安心できる空間

ケージやサークルは単なる制限ではなく、子犬にとって「自分の城」となる大切な場所です。家の中で放し飼いをしている場合でも、ケージの扉は常に開けておき、自由に出入りできるようにケージは設置しておきましょう。

おもちゃや飼い主の匂いのする布を入れると一層安心します。



快適な寝床

通気性が良く、洗濯しやすい素材のベッドを選びましょう。冬は保温性の高いもの、夏は涼しいタイプと季節に合わせた調整も大切です。子犬の成長速度は早いので、大きくなることを見越して選ぶと経済的です。



設置場所の工夫

家族の気配を感じられる場所が最適です。リビングの隅など、家族の様子が見えつつも、直接の通り道ではない静かな場所を選びましょう。テレビや洗濯機など大きな音がする家電からは離しておくこと、より良質な休息ができます。

エアコンの風や日差しが直接当たる場所は避けてください。



3. まずはトイレのしつけ

子犬にとって適切なトイレ習慣を身につけることは、新しい家庭での生活を円滑にするための重要なステップです。

根気強く一貫したアプローチで、子犬が正しい場所で排泄できるよう導きましょう。

トイレのステップ

1. **ケージ内でトイレを覚える:** 子犬はケージ内でトイレを覚えることから始めます。
2. **ケージの外から戻ることを教える:** ケージの外でトイレスペースを確保し、広い場所でトイレを教えます。
3. **教え方のコツ:** 排せつタイミングを把握し、成功時には褒めてあげましょう。

1 ケージ内でのトイレ習慣づけ

まずはケージ内にトイレとベッドを半分ずつ設置しましょう。子犬は本能的に寝床と排泄場所を分けたいと考えます。清潔なトイレシートを敷き、排泄後は速やかに交換すると、子犬はその場所がトイレだと認識し始めます。

毎日同じ場所で一貫性を保つことが成功の鍵です。

2 ケージ外へのトイレ拡大

ケージ内でのトイレが習慣化したら、段階的にケージ外のトイレスペースへ移行します。このスペースは子犬が回転でき、匂いを嗅ぎ回れる十分な広さが必要です。

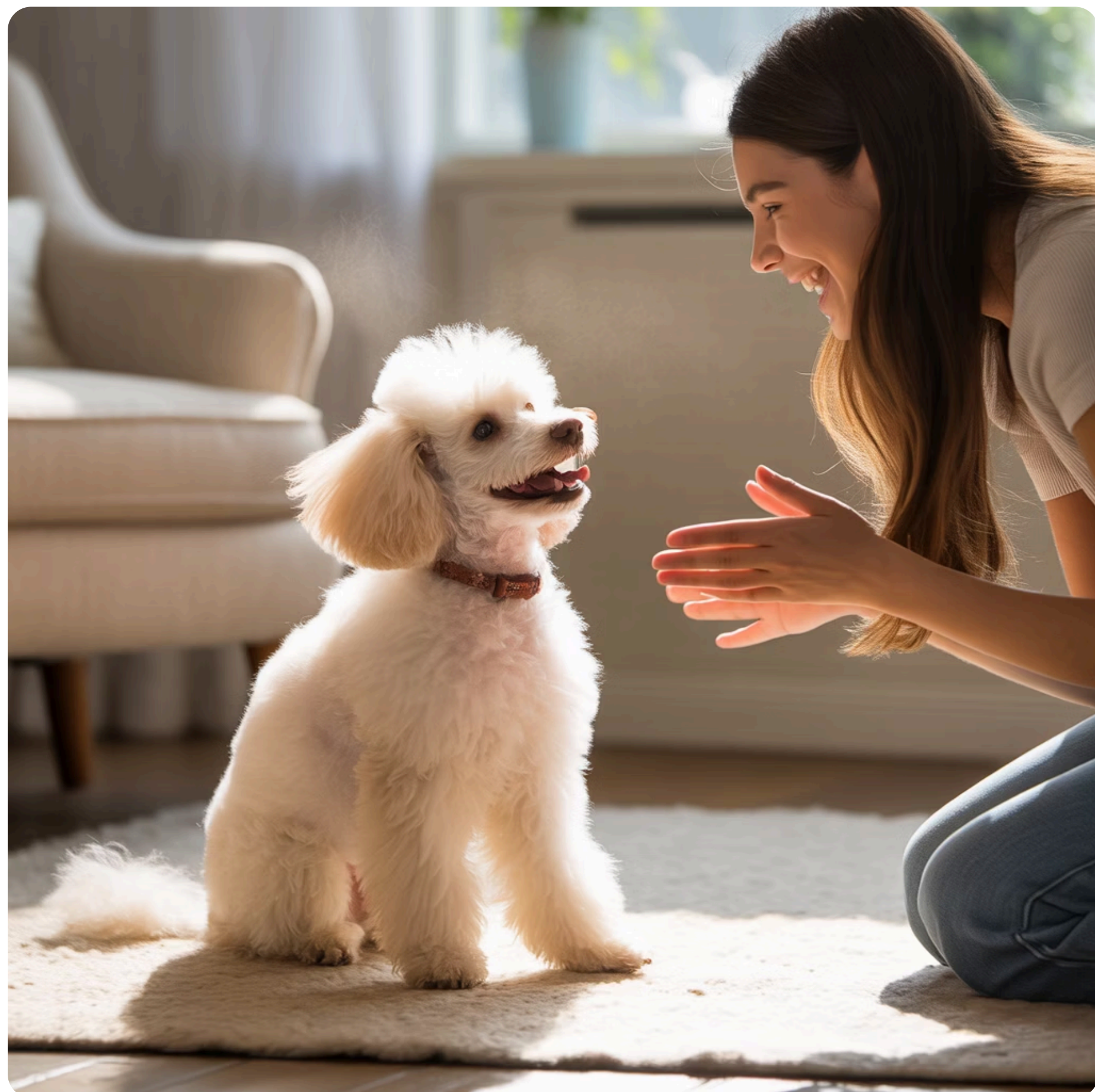
最初は一度おしっこをした後のトイレシートを使用し、慣れた匂いで安心感を与えましょう。子犬が自らトイレへ向かう行動を見逃さず、即座に褒めることが重要です。

3 成功への具体的テクニック

子犬の排泄サインを学びましょう。クンクン匂いを嗅ぐ、そわそわする、グルグル回るなどの行動が見られたらすぐにトイレへ誘導します。

食事後、遊んだ後、睡眠後の30分以内は特に注意深く観察し、トイレへ連れて行きましょう。

成功したら即座に「よくできたね！」と明るい声で褒め、おやつを与えます。失敗時は決して叱らず、静かに片付け、次の機会に成功できるよう根気強くサポートしましょう。





4. ストレスを減らし 安心感を与える

静かな環境づくり



新しい環境は子犬にとって大きなストレス源です。特に最初の1週間は、テレビの音量を下げるなど静かな環境を意識的に作りましょう。

突然の大きな音や急な動きは恐怖心を与えるため、家族全員が穏やかに接することが子犬の適応を助けます。

十分な睡眠時間



子犬は1日に16～20時間の睡眠が必要です。遊びたい気持ちを抑え、疲れサインが見えたらすぐに休ませてあげましょう。

質の良い睡眠は健康的な成長と精神発達に不可欠です。子犬が自ら選んだ場所で安心して眠れるようにしてください。

安心できる空間の提供



クレートやベッドに柔らかいブランケットとお気に入りのおもちゃを置くことで、家の中に「子犬専用のお家」を作りましょう。

この空間は罰を与える場所ではなく、リラックスできる場所として認識させることが大切です。定期的に褒めながら少しずつ慣れさせていきましょう。



5. 健康管理と観察を徹底する

子犬の健康状態は日々の細やかな観察が何よりも重要です。食欲不振、下痢、嘔吐、元気のなさ、異常な行動などの兆候が見られたら、迷わずすぐに獣医師に相談しましょう。早期発見が病気の悪化を防ぐ鍵となります。



食事の管理

子犬の成長段階に適したごはんを選び、大きさに合わせて1日2〜3回の決まった時間に適量を与えましょう。急な食事内容の変更は消化器官に負担をかけるため、新しいフードに切り替える際は1〜2週間かけて徐々に混ぜる量を増やしていきます。

常に新鮮な水を用意することも忘れないでください。



排泄の観察

排泄物の状態は健康状態を映す重要なバロメーターです。正常な便は適度な硬さでまとまっており、極端な色の変化や血液、粘液の混入、寄生虫の有無などに注意しましょう。排尿の頻度や量、色の変化も同様に重要な健康指標となります。定期的な記録をつけておくと変化に気づきやすくなります。



予防接種

子犬にとって致命的な感染症から守るため、獣医師と相談しながら適切な予防接種スケジュールを立てましょう。

混合ワクチンと狂犬病ワクチンの2種類があり、一般的に生後6〜8週間から開始し、16週齢までに複数回の接種が必要です。予防接種の記録をきちんと保管し、年齢に応じた追加接種も忘れずに行いましょう。



体調の変化

日常的な様子と比べて、元気がない、食欲不振、頻繁な嘔吐や下痢、咳、くしゃみ、異常な痒み、目や耳の異常分泌物、体重の急激な変化などがあれば要注意です。これらの症状が24時間以上続く場合は、速やかに獣医師の診察を受けましょう。

定期健診も健康維持の重要な要素です。



新しい家族を迎えた最初の 一週間が成功へのステップ

1-2日目：静かに見守る

子犬は環境の変化に敏感です。無理に触れ合わず、安心できる空間で新しい環境に慣れる時間を与えましょう。食事、水、トイレの世話だけを静かに行き、子犬が自分から探索を始めるのを待ちます。

3-4日目：少しずつ触れ合う

子犬が周囲に慣れてきたら、優しく短い触れ合いの時間を設けましょう。強制せず、子犬のペースを尊重します。おもちゃでの短い遊びを取り入れ、信頼関係の基盤を作ります。声のトーンも穏やかに保ちましょう。

5-7日目：生活リズムを整える

この時期から明確な日課を確立します。食事、トイレ、遊び、睡眠の時間を一定にし、子犬が予測できる環境を作りましょう。家族全員が同じルールを守ることで、子犬は安心して行動パターンを学習します。簡単なしつけも少しずつ始めましょう。

この大切な時期は子犬との関係構築を優先しましょう。毎日の記録（食欲、排泄、睡眠時間、行動の変化など）をつけることで、健康状態の把握や成長の喜びを実感できます。また、後々のしつけや健康管理にも役立つ貴重な情報となります。



まとめ：安心なスタートを



安全な環境を確保

電気コードやビニール袋などの誤飲リスクを排除し、階段には柵を設置。愛犬が安全に探索できる環境づくりを心がけましょう。



安心できる居場所

柔らかいクッションと適度な遮蔽のあるハウスを用意し、家族の匂いのするブランケットを入れることで安心感を高めましょう。



トイレのしつけ

決まった場所にトイレシートを敷き、成功時には必ず褒めて強化。失敗しても叱らず、根気強く導いていきましょう。



ストレス軽減

一日に16～20時間の睡眠時間を確保して情緒の安定を促し、焦らずに新しい環境に馴染ませましょう。



健康管理

食欲、排泄物、活動量の変化に注意を払い、予防接種スケジュールを守りながら、定期的な獣医師の診察を受けましょう。

子犬との新生活は喜びと挑戦の連続です。この最初の数週間の丁寧な関わりが、10年以上続く信頼関係の基盤となります。失敗を恐れず、一貫性と優しさを持って、あなたと愛犬の素晴らしい未来を一緒に創っていきましょう。

© 2025 株式会社フローエンス All rights reserved.

※本資料の内容（文章・画像・構成など）の無断転載・複製・引用・配布を固く禁じます。著作権は株式会社フローエンスに帰属します。